

令和8年度幼稚園経営計画

園名 大崎上島町立大崎上島幼稚園

園長 川本 美陽

I 【教育目標】

心豊かに、のびのびとたくましく生きぬく子供

II 【経営理念】（ミッション・ビジョン）

【ミッション】（自園の使命）

大崎上島の将来を担う たくましく生きぬく子供

～ ふるさと大崎上島を愛する子供を育てる ～

【ビジョン】（自園将来像）

～ 学び合い自ら力を伸ばす幼稚園づくり ～

- ・大崎上島の豊かな自然や伝統文化を生かした教育実践を行う。
- ・地域の幼児教育を推進する役割を担うと共に、さまざまな個性や特性をもった幼児が、主体的に遊び、学び合える幼稚園づくりをめざす。
- ・全教職員で園児一人一人の発達を大切にしながら、義務教育及びその後の教育の基礎を培う教育実践を行う。

【めざす幼稚園像】

園児にとって

- 明日が楽しみになる幼稚園
- 一人一人が力を発揮できる幼稚園
- 夢や希望がもてる幼稚園
- 大崎上島が大好きな幼稚園

保護者にとって

- 通わせてよかったと思える幼稚園
- 安全で安心できる幼稚園

地域の方にとって

- 園児が元気いっぱい明るい幼稚園
- 地域の教育力が生かされる幼稚園

教職員にとって

- 使命感とやりがいもてる幼稚園
- 創意・工夫を生かせる幼稚園
- 自ら学び、互いに認め合い、協働する楽しさを感じられる幼稚園

【めざす子供像】

○豊かに感じ表現する子

感じたことや考えたことを、伝えようとする子

○自分で考える子

善悪の判断する力を身に付け、自分で考えて行動できる子

○心も体もたくましい子

基本的な生活習慣を身に付け、自立をめざして生活を送ろうとする子
進んで運動遊びを行い、最後まであきらめないでやろうとする子

【めざす教師像】

- 専門職としての自覚をもち、謙虚に学び続ける教師
- 園児・保護者と良い関係を築き、仲間と助け合う教師
- 振り返りを生かした幼児教育の実践を行う教師

Ⅲ 1 現状の分析

	前年度の成果と課題 ◎成果 △課題 ☆改善の方策と今後の取り組み
幼児の健全やかな成長	<p>○主体性を育み、知識の基礎を培う：「考えることが楽しい」と言える子供を育てる。</p> <p>◎教師：保育記録や育みシートで評価・改善を行い環境構成の工夫や関りの改善につなげることができた。</p> <p>◎園児：環境構成の工夫は、興味関心の広がりや友達同士の関りが深まった。探求心も芽生え、友達と一緒に解決しようとする姿へとつながった。</p> <p>☆引き続き取り組む。</p> <p>○最後まで取り組もうとする子供の育成：あきらめずに運動遊びに挑戦する。</p> <p>◎運動遊び目当てカードを使った取り組みは、運動遊びへの意欲の高まりへとつながった</p> <p>◎目的意識が明確にもてるようになり、遊びの中で練習する園児が増えた。</p> <p>☆目標値を100%に取り組みを継続する。</p> <p>○基本的な生活習慣を確立する</p> <p>①早寝・早起き・あいさつ定着</p> <p>◎あいさつは定着できた。</p> <p>△早寝、早起きの定着ができなかった。</p> <p>☆早寝、早起きは定着に向けて継続して取り組む。</p> <p>②食事のマナーを身に付ける</p> <p>◎一年間取り組んだ結果、保護者の食事のマナーの定着や食事の量、偏食などへの関心が高まっている。丁寧な取り組みを行う家庭が増加しており、園と家庭で一緒に取り組めたことが成果につながった。</p> <p>△スプーン、フォークを正しくもつこと、箸を使って食べることに課題が残った。</p> <p>☆家庭と連携し、継続して取り組む。</p> <p>○健やかな体の育成：「なんでも食べる元気な子」を育てる</p> <p>◎給食指導の積み重ね、家庭への啓発や食育参観日（栽培・クッキング）を通して、食への関心につながった。</p> <p>☆クッキング活動の増加や保護者啓発の機会を継続する。</p>
信頼される幼稚園	<p>○大崎上島を愛する子供を育てる：「大崎上島学」を推進する</p> <p>◎子供たちの興味・関心を見逃さず、「大崎上島学」体験活動を実施したことが成果につながった。</p> <p>○連携教育を充実させる：幼小連携教育を推進する</p> <p>◎年間を通して授業の参観や小学生との交流や交流保育（授業）を行うことができた。</p> <p>◎支援を必要とする園児について日常的に連携をとることができ、園や家庭・地域での様子を情報共有し、滑らかな幼小の接続につなぐことができた。</p> <p>○開かれた園づくりに努める：積極的な情報発信を行う</p> <p>◎園だより、学級だより、園長だよりなどで園の教育を発信した。保護者や地域の方からも園児の様子や教育内容がよく分かったと評価をえた。</p>

2 本年度の重点目標

<p>○主体性を育み、知識の基礎を培うために環境の設定と保育活動の工夫を行い「気づき、考え、やってみる」子供を育成する。</p> <p>○「あきらめずに挑戦する」を目標に運動遊びに取り組み、最後までやりきろうとする力を育む。</p> <p>○「大崎上島学」を推進する。</p>
--

3 中期経営目標及び短期経営目標

項目	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	評価項目・指標 (効果をみとる目安)	目標値
幼児の健やかな成長	主体性を育み、知識の基礎を培う。	◎「気づき 考え やってみる」子供を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・つぶやきや会話を記録する。 ・聞く力、思考力を育む保育の工夫を検証し、保育の改善を行う。 	教師の自己評価 保育の振り返り（保育記録） ・育みシートによる子供の育ちの検証・改善	100% 100%
	最後まで取り組もうとする子供の育成	◎あきらめずに運動遊びに挑戦する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの目当てをもって、運動遊びに取り組ませる。 	運動遊びに取り組む姿の教師の評価 ・やってみようとする姿【年少】 ・目当てに向かって取り組む姿【年中・年長】	100% 100%
	基本的な生活習慣を確立する。	○気持ちのよい挨拶ができるようになる。 ◎食事のマナーを身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員がモデリングとなり、挨拶を交わす喜びを味わわせる。 ・家庭と連携を取りながら取り組む。 	教師と家庭の評価 教師の評価と家庭の評価 ・箸を使う。【全園児】 ・正しい箸・スプーンの持ち方を指導する。【教師】 ・スプーン、フォークが正しくもてるようになる。【全園児】	80% 100% 100%
	健やかな体の育成	○「なんでも食べる元気な子」を育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・作って食べる楽しさを経験させるため、クッキングを充実させる。 ・保護者啓発のため、親子で学習する場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキング回数 月1回 ・年2回以上 	100% 100%
信頼される幼稚園	大崎上島を愛する子供を育てる	◎「大崎上島学」を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの興味、関心主とした体験活動を実施し、大崎上島が大好きな子供を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の実施回数学期に1回以上 ・活動を楽しむ姿 教師のみとり 	100% 100%
	開かれた園づくりに努める	○地域の方の来園や園外での交流の機会を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との交流の場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回以上実施 	100%
	業務改善を図る。	○長時間勤務の減少を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の進め方の改善を図る。 ・個別業務の精選・省力化の工夫を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の評価 	80%

令和8年度 幼稚園経営計画構想図 大崎上島幼稚園

幼稚園教育要領
大崎上島町教育
推進プラン

幼稚園教育目標
心豊かに、のびのびとたくましく生きぬく子ども

幼児の実態
地域・保護者
の願い

めざす教師像

- ・専門職としての自覚を持ち、謙虚に学び続ける教師
- ・園児・保護者と良い関係を築き、仲間と助け合う教師
- ・振り返りを生かした幼児教育の実践を行う教師

めざす子供像

- ・豊かに感じ表現する子
- ・自分で考える子
- ・心も体もたくましい子

めざす幼稚園像

- ・夢や希望を持ち、一人一人が力を発揮できる幼稚園 【園児】
- ・安全で安心ができ、「通わせてよかった」と思える幼稚園 【保護者】
- ・自ら学び、互いに認め合い、協働する楽しさを感じられる幼稚園 【教職員】

【研究主題】

「気づき 考え やってみる子」の育成

～ 「どうして？」 「やってみよう」 が生まれる環境構成のあり方について～

教育

経営の重点目標

生活

幼児の健やかな成長

信頼される幼稚園

① 主体性を育む。

○保育記録、保育の検証・改善を行い「気づき 考え やってみる」子供を育成する。

② 学習の基礎を育む。

- 朝会や集会でのお話の時間や読み語りの時間を通して、「聞く力」「話す力」を育む。
- 目当てをもって運動遊びに取り組み、最後までやってみようとする子供を育てる。

③ 英語に親しむ。

○ALTによる英語で遊ぼうの時間を通して、英語を楽しみ、親しみをもつ子供を育てる。

④ 思考力・判断力の基礎を培う。

○ICT教材や絵本などを使った指導を行い、危険を「予測する力」を育む。

⑤ 豊かな言葉と心を育む。

- 職員による毎日の絵本の読み語り、講師による民話の語り聞かせ活動を通して、豊かな言葉と心を育む。
- 地域・児童との交流を通して関わる力を育む。

⑥ 健やかな体の育成

- 「なんでも食べる元気な子」を育む。
- 「体を動かすことが大好きな子」を育む。

⑦ 基本的な生活習慣の確立

- 早寝・早起き・あいさつに取り組む。
- 食事のマナーを身に付ける。

① 「大崎上島学」を推進する。

○大崎上島の民話・自然や農業体験を保育活動に位置付け、大崎上島の魅力・楽しさを体感し郷土を愛する心を育てる。

② 幼・小連携教育の推進

○保育内容や行事の工夫を行い、園児・児童と一緒に活動をさせ、小学校生活への憧れの気持ちや期待感を育む。

○特別支援教育の充実

○月1回の特別支援研修保育を実施し、教職員の指導力向上を図る。

③ 情報の発信と収集

○園だより、学級だより、保健、食育だより等、ホームページの更新を行う。Sigfyを活用し情報の発信を行う。

○全職員で全園児を育てることを念頭に、保護・地域の方とのつながりをもつ。

○地域の方との交流の場を設ける。

④ 園評価の実施と改善

○適切な園評価目標の設定と実践に努め、評価・改善を行う。

⑤ 業務の改善

生きる力の基礎を育む